道徳的価値を自分のこととして捉え、考えを深められる児童の育成

－地域の人材を活用した体験活動等と関連付けた指導の工夫を通して－

特別研修員　道徳　小倉　直美（小学校教諭）

【目指す児童像】道徳的価値を自分のこととして捉えて考えを深める児童

終末

振り返り

昔から大切にしてきた人がいたから、地域の文化遺産が守られてきたのだね。
私達も同じ気持ちを大切にしながら、他の人にも伝えたいな。

展開

手立て２　体験活動等の映像資料の活用（展開）

インタビュー動画を視聴させ、めあてについてもう一度考えさせる

インタビュー動画（史跡ガイド）

○○さんが私たちに期待してるって言っていたね。文化遺産を受け継いでいくことが大切だと思うよ。

大切に守ってきた人がいたから、僕たちの地域の文化遺産も残っているのだね。

教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する

発問「登場人物はそれぞれ姫路城にどのような思いをもっていましたか。」

絶対にあきらめない気持ちで修理したのだね。

私だったらすぐあきらめそうだけど、あきらめない気持ちで修理できたのかな。

めあて　地域の文化遺産が大切に受け継がれているのはなぜでしょう

古いし、珍しいからかな。

導入

手立て２　体験活動等の映像資料の活用（導入）

体験活動等での映像資料を提示し、本時に関わる道徳的価値についての関心をもたせる

史跡見学の画像

この地域にもこんなに珍しいものが残されているのだね。

とても古いものだから大切にされてきたのだろうね。

【実践事例】　主題名　ほこりある郷土　内容項目Ｃ－（17）伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度
教材名　「天下の名城をよみがえらせる－姫路城－」（出典：「小学道徳　生きる力６」日本文教出版）

事前

手立て１　地域の人材を活用した体験活動等と内容項目の関連付け

年間指導計画を活用して、既に計画されている体験活動等に道徳科の授業を組み合わせる

総合的な学習の時間の史跡見学と「郷土愛」を関連付けられそう。

史跡見学の日程確認の時に、道徳の授業概要も伝えて、インタビュー撮影をお願いしよう。

史跡見学

打合せどおり、見学の後、ガイドさんにインタビューします。

インタビュー動画の撮影

授業で活用できるように時間や内容を編集します。

インタビュー動画の編集等

児童の実態　道徳的価値を自分との関わりとして考えることが難しい
教材の感想に終始してしまったり深く考えられず、観念的な理解に留まったりしてしまう

教師の願い　自分の経験を振り返って、道徳的価値を捉えられるようになってほしい
自分自身を振り返ったり他者の意見を聞いたりして考えを深めてほしい

成果

○既存の体験活動等を活用することで、地域の人材を活用した道徳科の授業を負担なくスムーズに行うことができた。
○児童の体験活動等に基づいた映像資料を作成・活用したことで道徳的価値を自分のこととして捉えて考えている記述が見られた。
○インタビュー動画を視聴したことで、児童同士の交流だけでは引き出すことのできない感想や考えが引き出され、道徳的価値に対する自分の考えを深めることができた。

課題

○計画されている体験活動等の予定を基に、道徳科の年間指導計画を確認・修正する必要がある。
○映像資料の活用では、導入時の児童の体験活動等の資料の提示は、ねらいに迫るために精選する必要がある。